

食品工場のお医者さん®

ハサブ 中小企業のHACCP制度化対策には JFS-B規格が最適です

JFS-B規格とは

農水省が支援し設立した「一般財団法人 食品安全マネジメント協会」が日本語で作成した解釈に迷わずわかりやすい食品安全マネジメント規格です。協会設立には国内食品業界有力企業が名前を連ねています。同じ食品安全認証規格であるISO/FSSC22000とは異なり、JFS-A/B規格では監査会社が監査の中で指導・助言を行うことができます。中小企業に最適な食品安全マネジメントシステムの新たな規格です。



取得するメリットは

- ① ISO/FSSC22000と比較し、導入費用が安価です
FSSC22000で認証費用80~100万円(ISO22000は60~80万円)の場合、JFS-A/B規格では40~60万円で適合証明取得可能です
- ② ハード改修の要求が高くないため設備費用も抑えることができます
- ③ HACCP制度化に対応しており外部監査の負担を大きく下げることができます
- ④ 自治体HACCPと比べ、顧客取引条件として用いられることが多く売上増につながります



JFS-B規格取得は、大多数の企業が取得支援コンサルティングを依頼します。自社負担を抑え、外部からの指導・助言を取り入れることで社内の仕組みが大幅に向上します。



注意点

JFS-B規格の要求事項は無料で外部公開されており、要求事項通りに仕組みを作ること、文書・書類を作ることは時間をかければ(大変ですが)誰でも適合証明取得ができます。コンサルタント会社によっては「うちから提供する書類の名前や品目を変えれば大丈夫」とマニュアルだけを渡すこともあります。適合証明取得が目的であれば達成されますが、その結果**既存の仕組みを無視した二重マニュアルとなり作業者に負担**をかけ運用に支障をきたすこととなります。



弊社では、**JFS-B規格をつかい、お客様の経営改善につながる仕組み作りをお手伝い**します。JFS-B規格の仕組みを現在の経営の仕組みに融合させることで分かり易く運用可能な仕組み作りができます。現場の自主的な改善活動につながり、経営にも役立ちます。企業目標を達成するために、ヒト・モノ・カネ・情報をコントロールし、教育・訓練(人財育成)、作業環境整備と好ましい組織風土づくり(5S/7S活動支援)をしながら各プロセスでPDCAのスパイラルを回し、継続的改善を繰り返していくことで、会社の繁栄、従業員の成長にも繋がります。お客様に満足していただけることを、弊社経営コンサルティング方針としています。仕組みの完成後、監査会社として監査を行い適合証明書を発行致します。適合証明書の発行ができるコンサルティング会社を選ぶことも重要です。

食品安全のプロ・工場経験のプロが揃っており、ご希望に合わせた人材にて対応致します。
いざ取り組みを始めるときにお悩みになられぬように、準備期間・費用についてご説明できますのでお気軽にお問合せ下さい。



〒862-0971 熊本市中央区大江2丁目12番19号
TEL 096-375-1661 FAX 096-363-3378 Eメール info@factory-japan.co.jp



ISO 9001 認証取得

<https://www.factory-japan.co.jp/>